

2026年10月1日

各 位

株式会社 紀陽銀行

「地域未来構想人材育成プログラム 和歌山」の開催について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、当行が運営するインキュベーション施設「Key Site」において、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学（学長：田中 里沙、以下、同大学院）が主催する「地域未来構想人材育成プログラム 和歌山（以下、本プログラム）」を開催しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本プログラムは、文部科学省「産学連携・スキリング・エコシステム構築事業」の採択事業として実施される社会人向け人材育成プログラムです。同大学が研究・教育してきた「事業構想学」のエッセンスを学び、AI時代に求められる構想力や新規事業創出に必要な思考法を身につけることを目的としています。

紀陽銀行は、今後も地域からの新たな事業や価値を創出する人材の育成を支援し、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

記

【プログラム概要】

プログラム名	地域未来構想人材育成プログラム 和歌山
主 催	学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学
後 援	紀陽銀行
場 所	Key Site 2 階
定 員	30 名
参 加 費 用	10,000 円
開 催 日 時 お よ び 内 容 (全 4 回)	第 1 回 10 月 14 日（水）18:30～20:30 「顧客を創り、未来をデザインするマーケティング思考」
	第 2 回 10 月 30 日（金）18:00～20:30 「「正しい」を哲学する—答えのない時代に、自分の判断軸を問い直す哲学的思考」 (下村 智典 助教)
	第 3 回 11 月 13 日（金）18:00～20:30 「アントレプレナーシップとまち育て」 (ゲスト講師：和田 真治 和歌山大学 アントレプレナーシップデザインセンター 起業家精神涵養教育部門 教授（副センター長）)
	第 4 回 11 月 27 日（金）18:00～20:30 「事業構想から地域の未来を考える—地域の“いま”を見つめ、次の一手を構想する—」 (田村 典江 准教授)
申 込 方 法	別添チラシの QR コードよりお申込みください。 ※QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。



＜ご参考＞ インキュベーション施設「Key Site」について

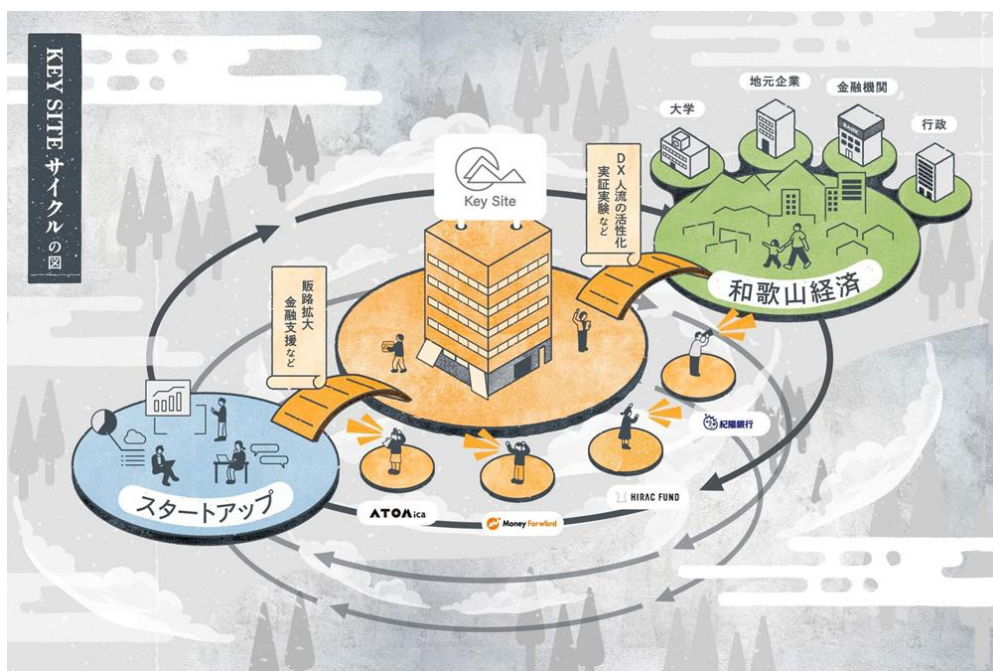
2025 年 3 月 27 日（木）に、株式会社紀陽銀行、株式会社 ATOMica および株式会社マネーフォワードのグループ会社であるマネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社が運営する「HIRAC FUND（ヒラクファンド）」が連携し、和歌山市内に「Key Site（以下、当施設）」を開設しました。

当施設のテーマとして“Region Bridge”（スタートアップと地域をつなぐ懸け橋）を掲げており、当施設を拠点に地域全体での取り組みを進め、和歌山県の地域経済成長および、スタートアップエコシステムの成長に貢献してまいります。

【施設概要】

名 称	Key Site（キーサイト）
所 在 地	和歌山県和歌山市黒田 2 丁目 18 番 5 号（JR 和歌山駅徒歩 8 分）
運 営 企 業	株式会社紀陽銀行、株式会社 ATOMica、株式会社 K-FIRST
連 携 企 業	HIRAC FUND／マネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社
施 設 内 容	スタートアップ支援、コミュニティ・コワーキング施設 レンタルオフィス、カフェの運営
開 設 日	2025 年 3 月 27 日（木）
設 備 概 要	階 数：5 階建 延床面積：1,338.23 m ²
設 計	株式会社ディー・サイン
U R L	https://kiyo-keysite.com

KEY SITE サイクル（活動イメージ）



AIが答えを出す時代。 未来は、**構想**した人のものになる。 事業構想のエッセンスを体験する4日間。

地域未来構想人材育成プログラム 和歌山



2026年10-11月 計4回開催



会場：和歌山 Key Site (キーサイト)

正解を探すだけでは、次の未来はつukれない。

AIの進化をはじめ、社会や顧客、働き方、
地域を取り巻く環境は、大きく変化しています。

情報を集めることも、分析することも、
アイデアを生み出すことも、これまで以上に容易になりました。
だからこそ、これから問われるのは、「正解を出す力」だけではありません。

何を問いとするのか。どんな未来を目指すのか。
自分たちが持つ強みや知識を、どのような新しい価値へ変えていくのか。

社会の変化を捉え、自分たちの経験や資源、多様な知を結びつけながら、
まだ存在していない未来を描き、その実現への道筋を考える。
それが、これからの時代に求められる「構想する力」です。

「地域未来構想人材育成プログラム」は、
事業構想大学院大学が研究・教育してきた「事業構想学」のエッセンスを、
全4回で体験する社会人向けプログラムです。
新規事業、既存事業の変革、第二創業、事業承継、
地域や社会の課題解決など、取り組むテーマは問いません。

具体的な事業アイデアがまだなくても構いません。
「今の延長線上ではない、次の可能性を考えてみたい」
そんな方に、事業構想の考え方に触れていただくための4日間です。

全4回・平日夜間開催

地域未来構想人材育成プログラム 和歌山 (文部科学省 産学連携・スキリング・エコシステム構築事業)



10/14(水)、10/30(金)、
11/13(金)、11/27(金)



定員 **30** 名

※本プログラムは文部科学省事業の一環として実施するため、
エントリーフォームにご入力いただく自己紹介や
本プログラムへの応募目的等をもとに、
受講の可否を確認させていただきます。



18:00～20:30

※10/14(水)のみ18:30開始

講 師

本学教員がオムニバス形式で登壇
(詳細はHPをご参照ください)

会 場

Key Site 2階
和歌山県和歌山市黒田二丁目18番5号
(JR和歌山駅東口徒歩約8分)

参加費

10,000円

主 催

学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学

後 援

紀陽銀行

お問い合わせ

日程 | 全4回

第1回 10月14日(水) 18:30～20:30

「顧客を創り、未来をデザインするマーケティング思考」

第2回 10月30日(金) 18:00～20:30

「「正しい」を哲学する一 答えのない時代に、自分の判断軸を問い直す哲学的思考」(下村 智典 助教)

第3回 11月13日(金) 18:00～20:30

「アントレプレナーシップとまち育て」(ゲスト講師 和田 真治 和歌山大学
アントレプレナーシップデザインセンター 起業家精神涵養教育部門 教授
(副センター長))

第4回 11月27日(金) 18:00～20:30

「事業構想から地域の未来を考える-地域の“いま”を見つめ、次の一手を
構想する-」(田村 典江 准教授)

こんな方におすすめです

- ✓ 新規事業や新たなプロジェクトを考えている方
- ✓ 既存事業をこのまま続けてよいのか、次の方向性を考えたい方
- ✓ 自社の技術・ノウハウ・顧客基盤などを、新たな価値につなげたい方
- ✓ 事業承継や第二創業を機に、会社のこれからを考えている方
- ✓ 社会や地域の課題を、新たな事業の可能性として捉えたい方
- ✓ AI時代に必要となる、新しい思考法や構想力に触れてみたい方

「新規事業と言われても、まだテーマが決まっていない」「何か変えなければと思っているが、次に何をすればよいかわからない」「自分の仕事や経験を、もっと別の可能性につなげてみたい」そんな段階からでもご参加いただけます。本プログラムは、完成した事業計画を持つ方だけのための講座ではありません。むしろ、これから何を考えていくべきなのかを考えるとところから、事業構想は始まります。

プログラムの
詳細・お申込み
はこちら



学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学 大阪校

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館タワー C 10階
E-mail : osaka@mpd.ac.jp
TEL : 06-6372-8411

文部科学省 産学連携・スキリング・エコシステム構築事業とは

本プログラムは、文部科学省「産学連携・スキリング・エコシステム構築事業」の採択事業として実施します。同事業は、大学等と産業界等が連携し、企業や地域などの人材育成ニーズを踏まえたスキリングプログラムを開発・提供することで、産業成長や地域課題の解決、新たな価値創出を担う人材の育成を推進するものです。事業構想大学院大学も採択事業者の一つとして、これまで培ってきた社会人教育や、企業・自治体・金融機関をはじめとする多様な組織との連携の知見を活かし、実践的な人材育成プログラムを展開しています。本プログラムもその一環として、社会や地域のこれからを担う方々に、新たな価値を構想するための学びの機会を提供します。

事業構想大学院大学とは

事業構想大学院大学は、文部科学大臣認可の社会人向け大学院です。

企業の新規事業開発、事業承継、起業、地域活性化などにおいて求められる「理想の姿を描き、実現可能な計画へ落とし込む力」を、2年間で体系的に学びます。

本学が専門とする「事業構想」とは

“こんな会社をしたい” “こんな社会を実現したい” “まだ世の中にない価値を生み出したい”

そうした理想や問題意識を起点に、新たな需要を生み出す事業を構想し、実現に向けたビジネスモデルや構想計画へと具体化していくプロセスです。



社会や市場が大きく変化する今、企業が持続的に成長していくためには、既存事業を守るだけでなく、次代の柱となる新たな事業を生み出すことが求められています。



事業構想大学院大学では、自社の経営資源や技術、地域資源、人的ネットワークなどを多角的に見つめ直し、外部との連携も視野に入れながら、実現可能な事業構想計画を磨き上げていきます。

このような方におすすめです



新規事業担当者・マネージャー



これから新規事業を構想したい方



自社の経営資源や技術を事業化したい方



リスクリングを通じて新たな役割に挑戦したい総務・人事・営業職の方



事業承継者・次世代経営者



企業変革を進めたい経営者



起業を目指す方



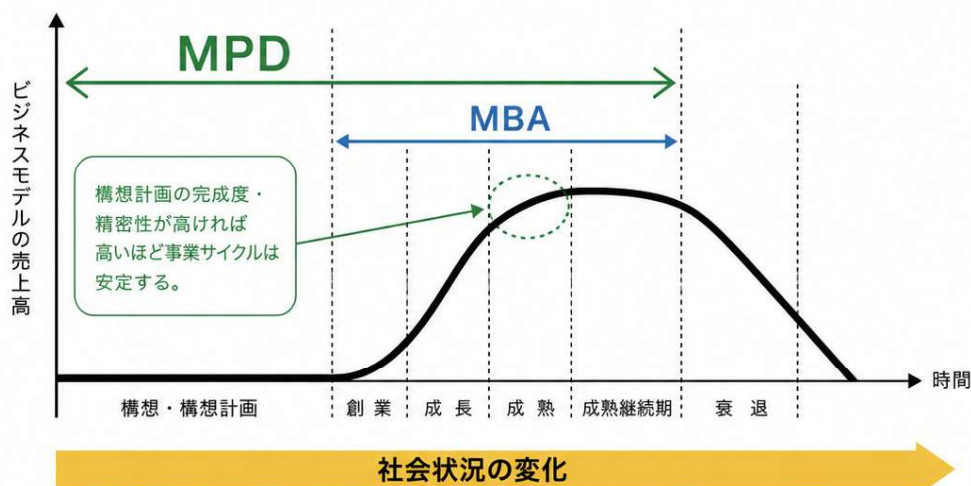
地域活性化に取り組みたい方

MBAではなく、MPD。

Master of Project Design / 事業構想修士

MBAが既存事業や組織を分析し、経営資源を最適に活用しながら経営管理の高度化を目指すのに対し、MPDは、まだ形になっていない事業の根本的なアイデアから発想し、理想の姿を描き、実現可能な構想計画へと具体化していく力を養う学びです。

「まだない事業を、構想し、形にする。」



MPD 新しい価値を創る

新規事業開発・事業承継・地域活性化・組織変革・社会課題解決に向き合う学び



MBA 既存事業を強くする

既存の事業や組織の分析・最適化・経営管理に向き合う学び

本学が目指すのは、社会や市場の変化を読み解き、自ら問いを立て、理想の事業を描き、周囲を巻き込みながら実現へと進めていく人材です。MPDで培う『構想する力』は、既存の延長線上だけでは答えが見つからない時代にこそ大きな意味を持ちます。



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡 / 仙台

お問い合わせ

学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学

〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館タワー C 10階
E-mail : osaka@mpd.ac.jp
TEL : 06-6372-8411